九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

『よくわかる家族援助論』 橋本真紀・山縣文治 編著

末崎, 雅美
九州大谷短期大学

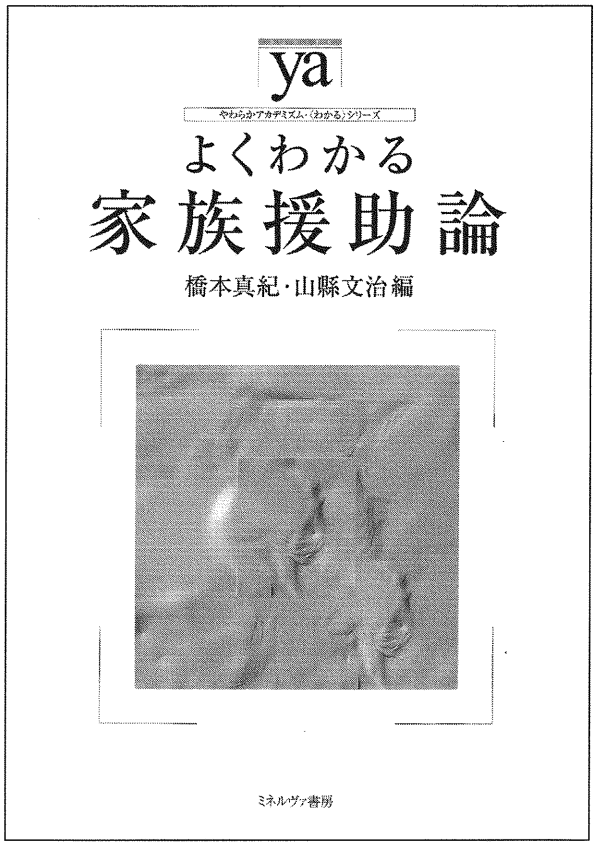
https://doi.org/10.15017/19971

出版情報：生活体験学習研究. 8, pp.83-84, 2008-02-12. 日本生活体験学習学会
バージョン：
権利関係：

日本生活体験学習学会誌　第８号　83－84（2008）

『よくわかる家族援助論』

橋本真紀・山縣文治　編著



2002年以降保育士の業務に「児童の保護者に対する保育に関する指導」が加えられ、保育士はこれまでの子どもに対する保育と同時に子育て支援の専門職として位置づけられるようになった。その際、保育士養成課程において「家族援助論」を履修することが必須となった。本書は、これから保育や子育て支援を担おうとする学生に向けて編まれた書である。

子育て支援においては、子育て家族をサポートする視点が必要である。保育士養成課程にある学生は、その経験の浅さから自分の家族をベースに考える傾向になりがちであり、子どもを思うあまりに「子どもがかわいそう、親は何をやっているのか」「親がもっとがんばるべきだ」など、保育を必要とする保護者の事情や心情をくみ取ることが難しい学生も少なくはない。そうした学生たちに「なぜ家族への援助が必要なのか」から始まり、家族への理解を深め、親を支えることの出来る保育者になるための内容となっている。家族援助の理論的背景や関連法、具体的な実践事例・サービスや関係諸機関の詳細などがわかりやすく紹介されている。

章構成は「Ⅰ家族援助の対象と役割」「Ⅱ子どもと家族」「Ⅲ保育士による家族援助」「Ⅳ家族援助に関わる法・制度」「Ⅴ子どもと家族を支える機関や人」「Ⅵ子どもと家族を支援するサービス」「Ⅶ保育所・幼稚園における家族援助」「Ⅷ在宅子育て家庭への支援」「Ⅸ要保護児童とその家族への援助」「Ⅹ家族への個別援助」「ⅩⅠ家族援助や地域の子育て支援の実際」となっており、理論→制度→実践と初めて学ぶ学生にもわかりやすい構成である。また節が各項目・キーワードになっていて、それぞれ見開き２～４ページという書面構成や、新出用語などの欄外説明などもあり、関係する新しい情報も網羅されているので、講義テキストとして非常に便利である。

ここで特筆すべきは、地域での子育て支援をとりまく活動をきちんと取り上げている点である。子育てサロン、サークル、ネットワークとそれぞれ詳細に紹介されている。また、地域子育て支援センターにおける地域支援や子育てサークル支援などについても項目立てがなされ、具体例からの詳細が記述されている。通常、こうしたテキストでは保育施設における事例が中心となり、地域における各種支援やボランタリーな活動については簡単にまとめていることが多い。

本書では「地域子育て支援拠点事業」について取り上げた後に、実際の地域子育て支援センターでの具体的な様子、プログラム、子育てサークル支援における保育士のやりとり、情報収集の方法など、具体的な場面を通して保育士の目線から記述されており、そこで、何が課題となるのか、保育士として保護者に何を提供すればいいのかなど、仕事の内容として、学生のわかりやすさに配慮した内容であることがわかる。例えば、「ⅩⅠ－４地域子育て支援センターにおけるプログラム開発」では、地域子育て支援センターの保育士が、遊びの時間に干渉や指示が多かったりおしゃべりに夢中になったりする親の姿から、この親子の「不自然な距離感」に気づき、「遊びは親が指導するもの」「親は子どもと遊ばないといけない」という親の思い込みが

課題であるところから新しいプログラムを考え出す、という流れになっている。そこから親と子、また親と保育士の関係性をプログラム開発を通して考えることができる。保育士養成課程に携わっている筆者も、日常の講義において状況説明に終わらず学生への主体的な思考を促すにはどうすればよいのか、日々悩むところであるが、本書のようなテキストがあれば学生自身の考える力を引き出せるだろうと感じる。

以上、「家族援助論」テキストとして本書が優れた書である点を述べてきたが、テキストとしての用途だけではなく、家族と保育・児童福祉をとりまく現在の状況を把握するための書としても優れている。若手研究者や現職経験者など多彩な執筆陣であるが、「子どもと家族を支えるために」「子どもの最善の利益のための子育て支援とは」という共通認識のもとに執筆されており、これからの子育て支援の課題を考える上で有用な書であることは言うまでもない。

なお、本学会の理事である相戸晴子会員も執筆していることを付け加えておきたい。

［ミネルヴァ書房、2007年、2,400円＋税］

（九州大谷短期大学　末崎　雅美）